

課題を見つけ、学習内容を身につけるための整理表(小学校～高等学校)【ゴール型】

【指導内容編】

学校種	小学校				中学校				高等学校			
発達の段階	各種の運動の基礎を培う時期				多くの領域の学習を経験する時期				卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	高校入学年次	高校次の年	高校卒業年次
領域	ゲーム (ボールゲーム)		ゲーム (ゴール型ゲーム)		ボール運動 (ゴール型)		球技 (ゴール型)					
内容	簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって、的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをすること。		ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作やボールを持たない時の動きで、易しいゲームをすること。		ゴール型では、簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって攻防をすること。		ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開すること。		ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開すること		ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること	
留意事項	ボールゲームとは 簡単なゴール操作の「ボール遊び」 簡単な規則で行われる「ボール投げゲーム」、 「ボール蹴りゲーム」をいう		「易しいゲーム」とは、 簡単なボール操作で行える、 比較的少人数で行える、 身体接触を避けるなど、児童が取り組みやすいように工夫されたゲームをいう。		「簡易化されたゲーム」とはルールや形式が一般化されたゲームを児童の発達の段階を踏まえ、 プレーヤーの数、 コート広さ、 プレーの制限(緩和) ボールやその他の運動用具や設備など ゲームのルールや様式を修正し、学習課題を追求しやすいように工夫したゲームをいう。		ゴール前の空間をめぐる攻防についての学習課題を追求しやすいように プレーヤーの人数、 コート広さ、 用具、 プレイ上の制限 を工夫したゲームを取り入れ、ボール操作とボールを持たないときの動きに着目させ、学習に取り組ませることが大切である。		仲間と連携した動きによってゴール前の空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開し、ボール操作とボールを持たないときの動きに着目させ、学習に取り組ませることが大切である。		仲間と連携した動きによって自陣から相手ゴールへと侵入し、意図的に得点をねらう攻防を中心に取り上げるようにする。その際、自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わえないときの動きに着目させ、学習に取り組ませることが大切である。	
ゲームの様相	(ア)物やマークなどの的に向かってボールを投げたり蹴ったりする当てのボール遊びで、個人対個人、集団対集団で競争するゲームをする。 (イ)攻めと守りが入り交じりながらゴールにボールを投げ入れたり蹴り入れたりするゲーム(ゴール型ゲームに発展)をする。		(ア)コート内で攻防が入り交じって、ボールを手や足で操作したり、空いている場所に素早く動いたりしてゲームをする。 (イ)ゴールにシュートしたり、陣地を取り合って得点ゾーンに走り込んだりするゲームをする。		攻撃側プレーヤー数が守備側プレーヤー数を上回る状態を作り出したり守備側プレーヤーを制限したりすることにより、攻撃しやすく、また得点が入りやすくなるような簡易化されたゲームをする。 (ア)投げる、受ける、蹴る、止める、運ぶといったボール操作をしたり、ボールを保持する人からボールを受けることのできる場所に動いたりして、攻守入り交じったゲームができるようになる。 (イ)攻撃側にとって易しい状況の中で、チームの作戦に基づいた一取りやボール操作によって得点できるようにする。		攻撃を重視し、空間に仲間と連携して走りこみ、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。 「ボール操作」とは、手や足などを使ってボールを操作し、シュートやパスをしたりボールをキープすることである。シュートは見方から受けたボールを得点をねらって相手ゴールに放つことである。キープはボールを相手に奪われないように保持することである。 「空間に走り込むなどの動き」とは、攻撃の際のボールを持たないときに得点をねらってゴールの前の空いている場所に走り込む動きや、守備の際に、シュートやパスをされないように、ボールを持っている相手をマークする動きのことである。		仲間と連携してゴール前の空間を利用したり、空間を作り出したりして攻防を展開できるようにする。 「安定したボール操作」とは、ゴールの枠内に安定してシュートを打ったり、見方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりすることである。 「空間を作り出すなどの動き」とは、攻撃の際は味方から離れる動きや人のいない場所に移動する動きを示している。守備の際には、相手の動きに対して、相手をマークして守る動きと所定の空間のカバーして守る動きのことである。		防御の状況に応じたパスやドリブル、ボールを保持したランニングなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴールへ侵入するなどの攻撃やその動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開するといったゲームの様相を示したものである。 指導に際しては、仲間と連携した動きによって自陣から相手ゴールへと侵入し意図的に得点をねらう攻防を中心に取り上げるようにする。 「状況に応じたボール操作」とは、コート上の空間や味方と相手の動きを見ながら、防御を交わして相手ゴールを攻めたり、味方が次に動く空間を予測してパスを送ったり、味方や相手の動きを見ながらボールをキープしたりすることである。 「空間を埋めるなどの連携した動き」とは、攻撃の際はシュートしたりパスをしたりトライしたりするために、相手の守備を見ながら自陣から相手ゴール前の空間にバランスよく侵入する動きの動きを示している。また、守備の際には、空間を作り出す攻撃をさせないように突破してきた攻撃者をカバーして守ったり、相手や味方の位置を確認してポジションを修正して守ったりする動きのことである。	
学習に取り組みたい運動種目の例と時数	ボール遊び・ボール投げゲーム⑨ ボール遊び・ボール蹴りゲーム⑩ 鬼遊び④	ボール投げゲーム・ドッジボールゲーム⑧ ボール蹴りゲーム・サッカーゲーム⑨ キックベースボールゲーム⑧ 鬼遊び③	タグラグビー⑧ ラインサッカー⑨	ハンドボール⑦ ラインサッカー⑦	バスケットボール⑦ サッカー⑦	バスケットボール⑦ サッカー⑦	サッカー⑫ バスケットボール⑫	バスケットボール⑫ ハンドボール⑫	サッカー⑫ バスケットボール⑫ ハンドボール⑫	○バスケットボール⑮ ○ハンドボール⑮ ○サッカー⑮ ○ラグビー⑮	○バスケットボール⑳ ○ハンドボール⑳ ○サッカー⑳ ○ラグビー⑳	
当該学年最終段階での具体的なゲームの様相の例	【ボール投げゲーム】 1チーム4人に分かれて、ボールを転がしたり、投げたりする当てゲームをする。 【ボール蹴りゲーム】 1チーム3人に分かれてボールを蹴って行う当てゲームをする。	【ボール投げゲーム】 的に当てゲームの発展した1チーム4人でのシュートゲームをする。 ボールを転がしたり、投げたりするドッジボールをする。 【ボール蹴りゲーム】 的に当てゲームの発展した1チーム3～4人でのシュートゲームをする。	【タグラグビー】 タグを使っての3対3程度の易しい陣取りゲームをする。 【ラインサッカー】 ゴールにダンボールなどを使った4対4程度の易しいゲームをする。	【ハンドボール】 ゴールにダンボールなどを使った3対3の易しいゲームをする。 【ラインサッカー】 ミニコートでの4対4程度での3年時より進んだ易しいサッカーゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで3対3の簡易化されたゲームをする。 【サッカー】 オールコートで5対5程度の簡易化されたゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで3対3の5年時より進んだ簡易化されたゲームをする。 【サッカー】 オールコートで5年時より進んだ簡易化されたゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで3対3の小6年時より進んだ簡易化されたゲームをする。 【サッカー】 オールコートで7対7、小6年時より進んだ簡易化されたゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで4対4の簡易化されたゲームをする。 【ハンドボール】 オールコートで5対5の簡易化されたゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで5対5の簡易化されたゲームをする。 【サッカー】 オールコートで9対9、小6年時より進んだ簡易化されたゲームをする。 【ハンドボール】 オールコートで7対7の簡易化されたゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで5対5の簡易化されたゲームをする。 【サッカー】 オールコートで11対11。正規のルールに近いゲームをする。 【ハンドボール】 オールコートで7対7の正規のルールに近いゲームをする。 【ラグビー】 適当な大きさのコートで、10対10の簡易なゲームをする。	【バスケットボール】 オールコートで5対5の正規のルールに近いゲームをする。 【サッカー】 オールコートで11対11。正規のルールに近いゲームをする。 【ハンドボール】 オールコートで7対7の正規のルールに近いゲームをする。 【ラグビー】 適当な大きさのコートで、10対10の簡易なゲームをする。	

課題を見つけ、学習内容を身につけるための整理表(小学校～高等学校)【ゴール型】

【指導内容編】

学校種		小学校				中学校				高等学校											
発達の段階		各種の運動の基礎を培う時期				多くの領域の学習を経験する時期				卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期											
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	高校入学年次	高校次の年	高校卒業年次								
ボール操作(バスケットボール)	シュート	<p>【簡単なボール操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大小、弾む・弾まないなど、いろいろなボールで、つく、転がす、投げる、当てる、捕る、蹴る、止めるなどの簡単なボール操作をするには、ボールをよく見て、両手足や体のいろいろな部分を使ってボール操作して、ボールになじむこと。 <p>【ねらったところへ投げる、転がす、蹴る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらったところに緩やかにボールを投げたり、転がしたり、蹴ったりするには、肩の上又は腰の横で、片手にボールを乗せ、もう一方の手で軽くおさえてセットし、ねらった方向をよく見て、ゆっくりと投げた り、転がしたりすること、または、ねらう方向を確認し、ボールをよく見て、ボールの横に足を置き、足の内側(インサイドキック)やつま先(トゥキック)をボールの中心に当てること。 <p>【ボールを捕る、止める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを捕ったり止めたりするには、ボールに正対して構え、ボールをよく見て、へそより上で捕る場合は両手の平を縦に、下の場合は、ボールは指を下にして捕ること、または足の裏や内側の側面で止めたりすること。 <p>【相手をかわす動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手(鬼)にタッチされたり、自分のマーク(タグやフラッグ)を取られたりしないように、逃げたり身をかわしたりするには、動く速さを変えたり、左右にジグザグに走ること。 				<p>【ゴールへ体を向ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持ったときにゴールに体を向けるためには、ボールを持っていない際にも、常にゴールのある方向を意識しておくこと。 <p>○シュートやゴールをすること(4年次)</p>				<p>【守備者がいない位置でのシュート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール方向に守備者がいない位置でシュートするには、ゴールを見て、膝を曲げてゴールの真上に放物線を描くように(ゴール下のシュート)、またしっかりとステップを踏んで腕をゴールに近づけるようにして打つこと。(レイアップシュート) 				<p>【守備者が守りにくいタイミングでのシュート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守備者が守りにくいタイミングでシュートを打つには、ボールを受け取ったら素早くシュートを打つこと。 <p>【ゴールの枠内へのシュート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールの枠内にシュートをコントロールするには、ゴールを見て、シュートフォーム、リリースポイントを 				<p>【守備者のタイミングをはずしてのシュート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守備者のタイミングをはずしてシュートを打つには、ステップを少なくしたり、シュートフェイントを使用すること。 			
	パス	<p>【味方へのパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方に手渡したりパスを出したりするためには、手渡したり、出したりする方向に片足を踏み出しながら、素早く投げるようにすること。 				<p>【フリーの味方へのパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くにいるフリーの味方にパスを出すには、コールを聞く、周りを見るなどしてフリーの味方を見付け、パスする方向に上体をひねり、両手でボールを操作して相手の胸を目掛けて投げる(チェストパス)。 ○得点しやすい場所に移動し、パスを受けて、シュートすること 				<p>【マークされていない味方へのパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マークされていない味方にパスを出すには、味方が走り込む前方に合わせて、相手にとられない速さのパスを出すこと。 <p>【得点しやすい味方へのパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すには、パスを受け取った際に守備者の足元にバウンドさせたり、守備者の後方へ浮かせたりして、味方が走り込む前方へパスを出すこと。 				<p>【味方が操作しやすいパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方が操作しやすいパスを送るには、味方の動きに応じて胸や頭のあたりに正確にパスを送ること。 				<p>【味方が作り出した空間にパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方が作り出した空間にパスを送るには、連携した味方の動きに合わせてタイミングよく正確なパスを送ること。 【ゴールに向かってボールをコントロールして運ぶ動き】 ・ゴールに向かってボールをコントロールして運ぶには、ゴール、味方と守備の位置関係に応じた適切な方法(パス・ドリブル・キープ)で行うこと。 			
	キープ	<p>【ボールを捕る、止める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを捕ったり止めたりするには、ボールに正対して構え、ボールをよく見て、へそより上で捕る場合は両手の平を縦に、下の場合は、ボールは指を下にして捕ること、または足の裏や内側の側面で止めたりすること。 <p>【相手をかわす動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手(鬼)にタッチされたり、自分のマーク(タグやフラッグ)を取られたりしないように、逃げたり身をかわしたりするには、動く速さを変えたり、左右にジグザグに走ること。 				<p>【相手にとられない位置でのドリブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手にとられない位置でドリブルするには、顔を上げて前方を見ながら、空いている場所にコントロールしやすいスピードで運ぶこと。 				<p>【パスでのボールキープ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスでボールをキープするには、マークされていない味方に、素早くパスすること。 <p>【ドリブルでのキープ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手にとられない位置でドリブルするには、相手の前にボールを突き出さないこと、ボールを突いていない手でカバーすること。 				<p>【自分の体で防いだキープ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープするには、守備者を背にして立つこと、ピボットを有効に使用すること。 				<p>【味方と相手の動きを見ながら、自分の体で防いだボールキープ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープするには、上半身を立て、ボールを相手から遠い位置に保持しておくこと。 			
ボールを持たないときの動き(バスケットボール)	オフエンス	<p>【コースに入る動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入るには、ボールを持っている人をよく見て、素早くボールの正面に動くこと。 <p>【ボールを操作しやすい場所への移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを操作できる位置に動くには、周りの人から離れるようにすること。 <p>【相手のいない場所への移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりするには、相手をよく見て全体が見える場所に動いたり素早く動いたりすること。 <p>【2・3人で相手をかわす動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3人で連携して、相手(鬼)をかわしたり走り抜けたりするには、声を掛け合って、仲間と動きを合わせながら違う方向へ移動すること。 <p>【相手を追いかける動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク(タグやフラッグ)を取ったりするには、相手をよく見て素早く動くこと。(鬼遊び) 				<p>【フリーの位置のポジショニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを保持する人と自分の間に守備者を入れないように立つには、守備者がパスカットできない位置に移動すること。 <p>【得点しやすい場所への移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどするには、ゴール近くのディフェンスのいない場所に素早く走ること。 				<p>【ボールとゴールの見えるポジショニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールとゴールが同時に見える場所に立つには、ゴールが見える体の向きで、ボール保持者の位置に合わせた場所に立つこと。 <p>【ゴール前への移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くには、ボール保持者とゴールの位置を確認し、守備者の前や後ろをカットインすること。 				<p>【ゴールから離れる動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れるには、パスをもらう動きをしながらサイドにひらく、高い位置に動くなどすること。 【パスを出した後の動き】 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをするには、パスを出す前に周りをよく見て、パスした後に、守備者の後ろや空いているサイドへ向かって、素早く走り込むこと。 【ボール保持者が進行できる空間を作る動き】 ・ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れるには、ボールをもらう動きをしながら、守備者を引き付けること。 				<p>【速攻の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動するには、守備者をふりきるスピードでタイミングよく後方から空間にかけあがることがある。 【空間に移動する動き】 ・シュートしたりパスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動するには、連携した味方の動きに合わせて素早くその空間に移動すること。 【空間を作り出すための動き】 ・ボール保持者がプレイしやすい空間を作り出すために、必要な場所に留まったり、移動したりすること。 【味方が侵入する空間を作り出す動き】 ・スクリーンプレイやポストプレイなどの味方が侵入する空間を作り出す動きをするには、必要な動きを理解し、常にボールを受け取る意識で動くこと。 【セットプレー】 ・得点を取るためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動きをするには、タイミングよく、チームで決められた空間へ素早く入ること。 			
	ディフェンス	<p>【シュートコースに立つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを保持する人とゴールの間に体を入れて相手の得点を防ぐには、相手がシュートする位置に合わせてゴールを背にして立ち、手を上に挙げたり手のひらをかざすこと。 				<p>○ボールを保持する人とゴールの間に体を入れてシュートを防ぐこと</p> <p>○得点しやすい場所に移動し、パスを受けて、シュートすること</p> <p>○ボールを保持する人と自分の間に守備者を入れないように立つこと</p>				<p>【ボール保持者のマーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持っている相手をマークするには、相手との一定の距離をたもちながら、相手の動きをよく見て、進行方向のコースに移動すること。 				<p>【ゴールを守るディフェンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守るには、ゴールの位置を意識し、ボール保持者の動きに合わせて一定の距離を保ちつつ、角度を変えながら移動すること、ボールに対し片手又は両手をかざすようにすること。 <p>【ゴール前のカバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール前の空いている場所をカバーするには、味方や相手の動きをよく見てとらえ、パスコースやシュートコースとなる所を埋めるように動くこと。 				<p>【ボールを奪うための動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをするには、相手を見ながら決められたポジションに素早く移動し、相手より素早く前に出てボールに触れること。 【攻撃者を止めるためのカバー】 ・味方が抜かれた際に、攻撃者を止めるためのカバーの動きをするには、味方が抜かれた瞬間に、ゴールと攻撃者を結ぶ位置に移動すること。 【味方と連携した守備】 ・一定のエリアからシュートを打ちにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動きをするには、攻撃者に対して複数の守備者が連携して素早く間合いをつめること。 			